

至誠

3号

2023年3月20日発行

- 2023 Geitan Map 2-3
- 山口芸術短期大学now! 4
now!な学生インタビュー
- しょうびレポート 5
ホームカミングデー
あつまれ!チビッコ!鑑賞レポート
デザインコンペの報告
- 頑張っちょるよ、同窓生! 6-7
- 母校への寄贈品のお知らせ 8
寄付のご案内
同窓会役員構成
編集後記



発行

撮影場所：JR山口線上郷駅

山口芸術短期大学同窓会しょうび

〒754-0032 山口県山口市小郡みらい町一丁目7番1号 山口芸術短期大学内しょうび事務局 TEL 083-972-2880 FAX 083-972-4145



2023

山口芸術短期大学

山口芸術短期大学、山口学芸大学、2023年の様子です。



ドイツハウス・パレット

ドイツなどヨーロッパの雑貨や、木の温かみあるおもちゃなどが置いてあります。ヨーロッパの食品もあります！出産のお祝いやプレゼントに寄ってみてはいかがでしょうか？



間子兵

学生も先生方も通う！あつあつの鉄板に、野菜こんもり、軽めの食感でペロリと平らげちゃうまこべえのお好み焼き。バイト募集してま〜す！



イラストart eN



SLやまぐち号

JR山口線の新山口から津和野をつなぐ蒸気機関車SLやまぐち号。車窓から見える風景は、山口の春夏秋冬が感じられ、車内の装飾は歴史を感じる。五感で楽しめます。



レストラン ねむ

昔からある洋食レストラン。家庭的な料理の数々はどれも絶品！デザートもオススメ！ランチが人気です。テイクアウトもあります。



■ボウリング場、カラオケ、スーパー、100円均一

授業で必要なものを買に来る学生さんの姿がちらほら。100円均一は学生にとってはとてもありがたいお店です。ボウリング場は体育の授業で使用されたことも。

■三久ラーメン

上郷のラーメンと言えば、老舗の三久ラーメン。開店当時から変わらない昭和を感じる店舗。濃厚すぎない豚骨仕立ては絶品です。地元人気は相変わらずでお昼時はとても混雑しています。

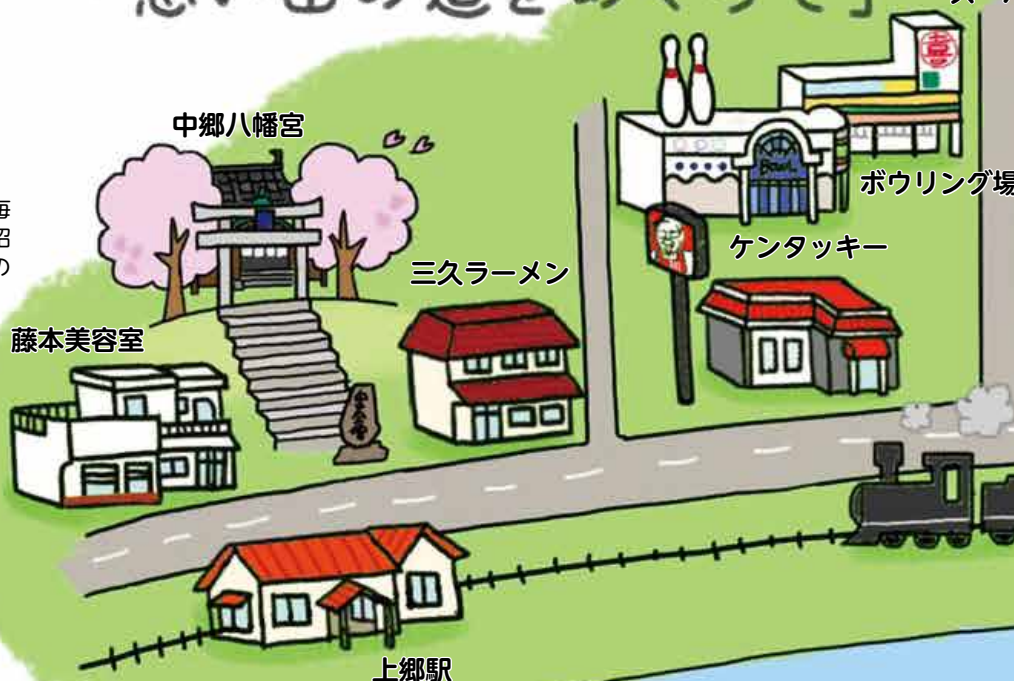


■中郷八幡宮

上郷地区にある古くからの氏神様であり、毎年春には満開の桜を咲かせ、みなさんをお招きしています。また、山口市指定天然記念物のオゴオリザクラも植樹し管理されています。

Geitan map

「思い出の道をめぐって」



■藤本美容室

芸短同窓生が営む美容室。大きな窓に描かれた手描きイラストは時より変わり、クスッとさせてくれます。カットはもちろん、着付けまでアットホームに過ごせる美容室です。



■上郷駅

芸短の最寄駅。1時間に2本の山口線です。オレンジの車両が走っています。同じ電車で通い、同じ電車で帰る、そんな友達との時間も大切な思い出ですね！



■ケンタッキーフライドチキン

みんな大好きなケンタッキーフライドチキン！ここでバイトをしている芸短生も多いのでは？クリスマス時期のドライブスルーはいつも行列です。

山口芸術短期大学 now!

now! な学生インタビュー

今回の芸短 now! のテーマはスバリ「学生インタビュー」!

この度は「芸術表現学科2年 田丸稜果さん」と「保育学科2年 徳本菜々美さん」の2名の学生さんにお話を伺っていきたいと思います。

Q1 なぜ、芸短を選ばれたのですか?

田丸さん 「Jビジネスも習いたい、音楽も習いたい!」と思っていたら芸短がありました。

徳本さん 小さい頃、保育士への憧れがありました。悩んだ時期もあったけど高校三年生の頃に保育士への憧れの気持ちを思い出し、保育士になることを決意しました。芸短がいいよ、という周りの人の声もあったのでこの学校を選びました。

Q2 今、一番楽しい授業は何ですか?

田丸さん 「吹奏楽」です。現在は学芸大学の学生さんと合同で授業をしています。十数名で取り組んでいて、私は打楽器にチャレンジしています。授業では「2020年上半期モデル」などを演奏しました。

徳本さん 「子ども総合」です。グループに分かれて取り組む形式の授業で、私は「泥棒学校」という絵本を題材に劇を作っています。小物や背景なども全て手作り、夏休みなどに準備を頑張りました。

とても楽しそう! 興味のあることや好きな事を通して学び、やはり勉強し甲斐がありますよね!

Q3 この学校に入っていいな、と思ったことは?

田丸さん 最新式のエレクトーンのQ2が使える事! あとはピアノの授業が習えるのも良いですね!



G棟の造形室。学生たちが作った小道具や実習先の子どもたちが描いてくれた絵なども飾られていた。



L10の写真。最新式のエレクトーンとグランドピアノが並んでいる。

充実した設備はまさに芸短の強みと言えるでしょう。足繁く通ったり、自分の課題をこなしたりする場所も思い出深いですね。

Q4 芸短のお気に入りの場所は?

田丸さん L10です。グランドピアノとエレクトーンが一緒に並んでおり、空調がよく効くのが好きです。

徳本さん G棟の造形室です。保育学科の学生たちがずっと通っている部屋なのでとても思い出深く、折り紙や画用紙が自由に使えるのがとてもいいです!

徳本さん ピアノが自由に使える事。あとは保育の経験が短期間でぐっと積めるので、実践に繋がるのも良い所だと思います。

数年前には学校の校舎も新しく建て替わりましたし、設備が整っているという事は、学が上でもとても大切なことですね。では、次の質問です。

Q5 コロナ禍での影響は?

田丸さん・徳本さん ランチは黙食。不意に黙食を促す校内放送が流れます。就活でも大きな影響があり、面接はリモートで筆記試験は郵送での対応でした。筆記試験をする際は違反できないよう、リモート通信しながら受験でした。今では少しずつ対面の形式も戻ってきています。まさにコロナ禍ならではのですね。



黙食を促す学食の張り紙

Q6 将来の夢は何ですか?

田丸さん 事務職への就職に向けて頑張っています!

徳本さん 保育士です! 地元の幼稚園への就職も決まりました。

学生のうごき

近年の入学数、卒業者数の統計

令和3年度	男	女	合計
入学者数	6	128	134
卒業生数	6	115	121
進学者数	1	3	4
就職者数	4	102	106

※令和4年5月現在

令和4年度	男	女	合計
入学者数	6	111	117
卒業生数	5	126	131
進学者数	0	1	1
就職者数	4	112	116

※令和5年3月1日現在



左: 田丸稜果さん 右: 徳本菜々美さん

お二人とも、笑顔で答えてくださいました。インタビューを通し、お二人とも日々、前向きに学生生活を送られていることがひしひしと感じられました。Now! な学生さんたち、とても頑張っておられます!! 好きなことをしながら学び、培ってきた芸短での経験が、社会に出たときにも活かされると嬉しいですね! お二人とも、お忙しい中インタビューにお答え頂き、ありがとうございました!

しょうびレポート

ホームカミングデー

令和4年11月6日(日)に第1回山口芸術短期大学ホームカミングデーを開催しました。第1回は短期大学教員や同窓会「しょうび」で臨時役員会を執り行い、山口芸術短期大学の現状や今後の展望についての様々な意見交換が行われました。その意見交換をもとに、今後は短期大学教員と「しょうび」がさらに密な連携をとることで山口芸術短期大学をより良いものへとしていきたいと考えております。

第1回は短期大学教員と「しょうび」のみで執り行いましたが、ホームカミングデーは今後も毎年行う予定であり、卒業生が気軽に山口芸術短期大学に帰ってくる事ができるイベントの一つとして定着させていきたいと考えております。そして山口芸術短期大学がより活力のある短期大学に発展していくとともに、ホームカミングデーが現役生や卒業生同士の交流の場になり、短大がいつも身近な存在となり得ることを「しょうび」として願っております。



「あつまれ！チビッコ」鑑賞レポート

12月4日(日)、保育学科2年生による子ども総合発表会「あつまれ！チビッコ」が開催されました。今回はその午後の部をレポートします。

未就学児を含む地域のご家族10組を招いて、午前午後各4グループが身体表現や劇など、1年かけて取り組んできた「子ども総合」という授業の発表会です。

まず、調査研究グループが終日掲示してあるポスター発表について説明します。それぞれが興味ある内容について研究し、まとめたものを掲示してあります。

その後、表現の発表に移ります。私が見た午後の部は①人形劇表現「ぐりとぐら」、②身体表現「ドキドキ！ハラハラ！楽しく身体を動かそう」、③劇表現「アラジンと魔法のランプ」、④身体表現「はんすき？きらい？」という内容でした。

人形劇表現では、子どもたちも大好きな絵本のぐりとぐらが可愛いお人形となって現れ、子どもたちもとても嬉しそうでした。テーマソングを教えてもらって、一緒に歌う場面もあり、子どもたちを惹きつける工夫もされていました。



身体表現では、学生さんたちが6〜7人で場面ごとに歌って踊って、BGMを演奏し、とても忙しそうにそれぞれの役割をこなしていました。子どもたちの前に立つ時は明るい表情で、大きな声と大きな動きで子どもたちにも伝わりやすく工夫されていました。

劇表現では、保育園や幼稚園のお遊戯会でも人気のアラジン！場面ごとの背景や衣装も

全て学生さんたちの手作りで見事にお話の世界が表現されていました。



それぞれのグループメンバーでジャンルと演目を決め、衣装から小道具、背景や演出を全て学生さんたちがプロデュースしているそうです。お客さんとして来ている子どもたちにも分かりやすく楽しんでもらえるように、喋り方や動きなど飽きさせない工夫もたくさん考えられています。子どもたちの好きな曲をBGMに使い、それらも自ら演奏する、さすが、芸術の保育学科です。



最後まで楽しそうに見ていた子どもたちは、帰り際、お見送りしてくれるお姉さんたちにみんな笑顔でバイバイをしていました。学生たちが子どもたちにも楽しんでもらうためにたくさん準備し、練習してきたことがしっかりと成果となって表れていたと思います。コロナ禍のため、マスクを着用しての発表でしたが、学生さんたちの笑顔はしっかりと伝わっていました。卒業後、子どもたちに好かれる保育者として活躍されることを期待しています！

デザインコンペの報告

第3回デザインコンペの選定へ行ってきました。

2020年から山口芸術短期大学が全国デザインコンペを開始、クリエイタの発掘・育成への新たな取り組みを始めました。

入賞作品は県内様々な場所で展示され、多くの人々に高覧いただき、地域のデザイン文化振興の一助となっております。

今年も「第3回デザインコンペ」が開催されました。

前回から同窓会しょうびも協賛することになり、中高生を対象とした部門で「しょうび賞」という賞を選抜することになりました。

事前に厳選なる審査を通過した作品の中から一点、これからの夢や希望の励みとなればと思ししょうび役員より4名が選考しました。

近年、このような大学の事業や支援などにも力を入れていく同窓会としては、未来を担う関わりが大学と連携し活動できることに大変うれしく感じます。

毎年開催され、一般の部門もありますので同窓生の皆様も是非参加してみたいかがでしょうか？

主催者詳細はコチラ

〒754-0032

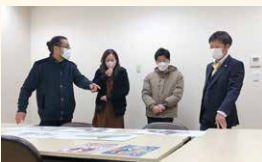
山口市小郡みらい町二丁目7番1号

山口学芸大学 山口芸術短期大学 デザイン

スタジオ・みらい「デザインコンペ」

担当：企画連携課

e-mail: kakukanken@yamaguchi-u.ac.jp



山口芸術短期大学同窓会 しょうび賞 選考の様子

頑張っちよるよ、 同窓生！

版画アーティスト

生活芸術科16期 戸嶋 由香 さん

としまよしか

私は、銅版画技法を用いて、自己表現を続けているが、その銅版画技法との出会いは、山口芸術短期大学研究コース在籍時、版画マニアの後輩と出会い、それまで観たことのない版画技法（メゾチント）を教えられ、衝撃を受けた事を思い出す。実物作品・技法書を見て、全く技法を理解出来なかった事で、学んでみたいという欲求が強くなり、その後東京の美術学校に進み、様々な版画表現を学んだ中で、やはり最初に衝撃を受けた銅版画技法（メゾチント）に対する思いは、未だ色褪せず、その時々自身の思いをカタチにする手段となっている。

上京して以来、創作活動の拠点を東京に置いていたが、8年前に諸事情で活動拠点を、生まれ故郷の萩市に移し、紆余曲折ありながらも『版画処 Showji』という屋号で、展示スペースと教室を併設するアトリ



しない今日の状況である。

工を立ち上げ、版画をつくる楽しさ、作品を飾る楽しさ、作品を鑑賞する楽しさを感じて頂きたいという思いで、版画に興味を持たれる訪問者を、常時受け入れ態勢ではいるが、中々訪問者は増えは

令和4年の春先、山口芸術短期大学から、今年度から版画の授業が無くなるので、版画用の機材を処分するので必要な物があれば持ち帰って下さいと連絡があった。版画の授業が無くなる間かされた時、何とも言えない寂しさを味わったが、廃棄される物を見下見に伺った時、宝の山に寂しさより嬉しさが勝ってしまったのである。後日、あいにくの大雨の中お宝を運び出し、アトリエに持ち帰り運び入れ、濡れた機材の一つ、大きな木版画プレス機を錆止めのシリコン剤を吹き付け、ウエスで拭き上げてみると、木製パーツの一部に黒い油性マジックペンで『57.11.27(2021)』と記されているのを発見したのである。私が山口芸術短期大学に入学したのが昭和58年4月であり、デザインコース専攻であったので、版画の授業を選択できず、この木版画プレス機を使う機会は無かったが、同時代を生き延びたプレス機が我がアトリエにやって来たことに、感慨深さと、勝手に版画繋がり運命を感じているのである。いつかこの木版画プレス機で、大型作品を生み出さなくては、勝手に責任も感じているのである。

一緒に引き取った機材の中に、小さめの銅版画プレスもあったが、現在、一番活躍してくれている。我がアトリエには、訪問者は増えないが、プレス機はどんどん増えていく。

現在、銅版画プレス機が大小4台、大型木版画プレス機1台が設置されているが、

そのうち4台がギャラリースペースに設置しており、まるでプレス機のショールームと化しているが、何故か以前よりギャラリースペースでゆったりと過ごす時間が長くなってきている。プレス機に囲まれながら、好きな音楽を聴いていると、時間を忘れ、とても穏やかな気持ちになれるのである。版画に興味を持たれた方、いつでも訪問お待ちしております。



地域に愛され寄り添えるお店でいたい

保育学科28期 飛田 明美 さん

とびたあけみ

山口市中心商店街の路地裏新天街に『リフレクソロジー』で癒しの空間『ぽっかぽか』を店舗で構え、お客様が笑顔で元気に過ごせるよう、日々、足裏施術を提供しています！



「ここに来たら元気がでた」「明日もう1日頑張ってみようかな」「癒される」そんな心温まる空間づくりを大事にしています。

「障害がある子ども達に関わる仕事が出来た！」「と当短期大学保育学科に進学。後に現場でも活かされたわらべうたや身体を動かすあそびなどを学び、実習でお世話になった、統合保育に力を入れる、愛児園湯田保育所に就職し9年間勤務。

障害児担当やクラス主任として子ども達と触れ合い、向き合う中、教育とは子ども達と共に育つ【共生】であることを学びました。

何事も全力投球な性格の私は、心身のバランスを崩してしまいましたが、体調不良がきっかけで「自分も癒され、周りの人も癒される空間をつくりたい！」と保育所を卒業後、リフレクソロジーを学び、リフレクソロジーとして第2ステージをスタート！

保育士とリフレクソロジー、仕事内容は全く異なりますが、根底は一緒だと思っています。

【肌と肌の触れ合い＝心の安定、安心感に繋がる】「1人ひとりを大切に」

この想いは、今もブレる事がなく大切にしています。園長先生にはご縁を繋いで頂き、職員の健康維持とリラクソスのために、週一のペースで保育所の職員さんに施術を提供しています。

リフレクソロジーは、身体の自然治癒力を高める手助けをする民間の健康療法で、リラクソス効果も高く、心身の不調や苦痛の緩和、改善にも効果的なので、現代医療を補う、補充療法としても役立っています。

（この内容が抜けています）

こんにちは！音楽学科42期生の森重と申します。私は、もっと歌が上手になりたい！という思いで、39歳の時に入学し、長期履修生として6年間、山口芸術短期大学で音楽を学びました。卒業後は、小学校補助教員、中学校音楽教員として勤務し、音楽療法を活かして、高齢者施設や保育施設など、様々な場所で音楽活動を行いました。現在は、「和っと」という名前で事業を立ち上げ、奮闘中です。

事業のきっかけは、2年前、山口商工会議所主催の起業塾で、創業について学び、多くの刺激を受けたことです。今までの経験を活かして、人と人をつなぐ場所、家や会社や学校以外のサードプレイスを作ることが最終目標です。コロナ禍で、目の前にいる人、身近な人と幸せになること、人と

音楽学科42期 森重久美子 さん

いっしょになっても、挑戦！



【Instagram】～リフレクソロジーで癒しの空間～
ぽっかぽか [pokkapoka358]

今後は、医療関係者の方と連携をとっていきたくと考えていて、病気を患っている方の症状改善や緩和を目指す、統合医療に関わりたいと思っています。

このコロナ禍、ストレス社会だからこそ！誰かのためになる、私たちセラピストだからこそできる事があると信じ、邁進していきます！



もう一つ、芸短での経験や出会いを活かして、新山口駅観光交流センターに設置してある駅ピアノを使っている音楽イベントを企画運営しています。日常に音楽を、気軽に音楽を楽しめる場所、誰かのきっかけ、誰かの応援、誰かと誰かをつなぐこと。イベントを行うたびに、音楽の力を強く感じています。音楽がなくても生きていけるけど、音楽があることでどれだけ救われ、豊かになれるかを実感し、多くの人と共有したいと考えています。

卒業して12年が経ちますが、芸短での経験が今の私の柱になっています。学ん

だことはもちろんですが、ここでの出会いは、貴重な宝です。今までも暖かい力を借りてきました。これからも、そんな多くのパワーを、楽しいと思えること、本当にやりたいことに注いでいきたいと思っています。「しょうび」は、大きなファミリーのような存在。何かあれば声をかけてください！一緒に考え、トライしていきますよ！



だことはもちろんですが、ここでの出会いは、貴重な宝です。今までも暖かい力を借りてきました。これからも、そんな多くのパワーを、楽しいと思えること、本当にやりたいことに注いでいきたいと思っています。「しょうび」は、大きなファミリーのような存在。何かあれば声をかけてください！一緒に考え、トライしていきますよ！

【つくる】



【Instagram】和っと芋 [wat_imol]



幼児教育科21期 上田 智子 さん

幼い頃から「つくる」ことが大好きで、折り紙とティッシュで巻きずしを作ったり遊んだり、誕生日には玩具よりも落書き帳十冊をお願いするような子供でした。山口芸術短期大学に入学する時も、幼児教育科を選択するのが生活芸術科にするのか悩むくらい「つくる」ことが大好きで、結局幼児



教育科に決めましたが、当時一クラス七名しかいなかった美術選択コースに入学しました。結婚し出産すると、今度は息子のために洋服を製作するようになりました。

周り比べてみても特にオリジナル性も無いし、上手くもない。でも、もしかしたら売れるかも、という単なる興味本位で小さなイベントに十八年前から出店してみようになりました。自分の作ったものが商品になってそれを手にとって買ってくださる方がいる、というところに自分の「つくる」活動が認めてもらえた気がしてとても嬉しかったのを覚えています。

今は「暮らしをつくる つくる暮らし」もっちゃんの暮らし」と屋号を構えて、ふんどしパンツや布ナプキン、ヒンメリ、米ぬかカイロなどをメインに販売しています。自分が使ってみてよかったものや身体にも良さそうなものに自然と目が行くようになり、面白いアイデアがないか常にアンテナを張り巡らせています。気がつくくと私の本棚には、「つくる」に関する本がぎっしりと並んでいます。自分が本当に好きなことは何なのかと考える時に本棚を見ると分かる、という話がありますが、私の場合それにとっても納得しています。最近では販売だけでなく、「つくる」行程を一緒に楽しむワークショップも開催しています。今後は、ハンドメイドで学んできたノウハウを生かしながら地域起こしにも引き継いでいくことができたらと野望を膨らませています。

母校への寄贈品のお知らせ

今年度も母校への活動支援の一環として、同窓会費の一部を備品寄贈費として使用させていただきました。同窓生の皆様にはご理解の程よろしくお願ひいたします。

今年度は、新しくなった校舎の中庭で学生さんたちが充実した時間を過ごせるようにベンチ2台を寄贈させていただきました。母校の意見も参考にさせていただきました。役員会で厳選いたしました。新校舎のA棟とC棟の間には広くて綺麗な中庭があります。学校側において、この中庭の活用方法を検討しているとの伺い、ベンチを設置し、学生さんたちの憩いの場、交流の場、コミュニケーションの場として活用することをお願い描き、今回の寄贈となりました。天気の良い日には仲間同士でランチをしたり、休憩したり、イベントを開催したりと、学生生活が豊かになるよう活用していただければ幸いです。



新しくなった綺麗な中庭に2台設置。
C棟にある学食からもすぐ！ランチタイムものびのび過ごせます。

寄付のご案内

同窓会しよっぴでは、「同窓会運営」「同窓生支援」「同窓会情報発信」を定め、母校に貢献する母校支援活動をさらに展開して行くこととしております。

今年も引き続き会員の皆様のご厚情を賜りたく、大変恐縮でございますが、100(1,000円)以上ご寄付いただければ幸いに存じます。

今後とも会員の皆様方の絶大なご支援・ご協力を頂きながら、同窓会発展のため努力して参る所存でありますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

※会報誌折込別紙参照
【寄付金の使用目的】

同窓会全体の活動を積極的に展開することが同窓会の発展、同窓会会員への支援の向上に繋がるものでありますので、ご寄付の使用目的については、

「同窓会活動、同窓会運営全般に充て、更なる会員支援の向上、同窓会運営の拡充へ有効に活用」とさせていただきます。

皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

同窓会役員構成

- | | |
|------|-------------------------|
| 名誉会長 | 三池 秀敏 (山口芸術短期大学学長) |
| 会長 | 長谷川貴志 (生活芸術科 27期) |
| 副会長 | 田良 浩樹 (幼児教育科 21期) |
| | 竹内 美幸 (音楽学科 42期) |
| 書記 | 久富 和也 (保育学科 36期) |
| 顧問 | 内山久美子 (生活芸術科 11期) |
| 幹事 | 若崎 智子 (生活芸術科 9期) |
| | 杉本 紀子 (音楽科 12期) |
| | 大野 恵子 (幼児教育科 6期) |
| | 中尾 優太 (保育学科 32期) |
| | 服部 憲尚 (音楽学科 41期) |
| | 森重久美子 (音楽学科 42期) |
| | 中西 朱里 (デザインアート学科 42期) |
| | 木村 祥子 (芸術表現学科 44期) |
| | 藤本 愛梨 (芸術表現学科 44期) |
| | 藤原 知明 (芸術表現学科 46期) |
| | 岡本 優香 (芸術表現学科 47期) |
| | 神木 綾乃 (芸術表現学科 47期) |
| 会計監査 | 川手 艶子 (音楽科 12期) |
| | 船木 一颯 (山口芸術短期大学総務部総務課長) |
| 事務局長 | 吉野 信朗 (山口芸術短期大学学生部学生課長) |
| 会計 | 狩山美重子 (山口芸術短期大学学生部) |
| 中国支部 | 金築 敏久 (生活芸術科 9期) |
| 九州支部 | 外磯宏二郎 (芸術表現学科 44期) |
| 四国支部 | 川村 高弘 (音楽学科 32期) |

令和5年3月20日現在

… 同窓会住所 …

〒754-0032 山口県山口市小郡みらい町一丁目7番1号
山口芸術短期大学内
TEL : 083-972-2880 FAX : 083-972-4145
同窓会しよっぴ公式ホームページ <http://shoubi-yca.com/>
同窓会しよっぴ問い合わせ先
shoubi@yamaguchi-jca.ac.jp
山口芸術短期大学公式ホームページ
<http://www.yamaguchi-jca.ac.jp/>

編集後記

山口芸術短期大学同窓会しよっぴの会報誌「至誠」3号の発行にあたり、先生方や卒業生、在学生の皆様にご協力頂き誠にありがとうございます。

そして、今回の芸短マップ作りには、芸短周辺の方々にもご協力頂きました。心より感謝いたします。

創立当時に比べると校舎も建て替わり、学校周辺の建物や店舗等も増えていますが、上郷駅と芸短の坂道は今も変わらず私たちを迎えてくれます。

卒業生、そしてこれから新たな夢に向かう在学生の皆様が、いつでも学生時代を思い出すことができる紙面になれば幸いです。